

むこう じま ひやっ か えん  
向島百花園

Mukojima-Hyakkaen Gardens

200年の歴史、江戸の花園



国指定名勝・史跡  
向島百花園

スタンプ欄

- 開園年月日  
昭和14(1939)年7月8日
- 開園面積  
10,885.88㎡
- 開園時間  
午前9時～午後5時  
(入園は午後4時30分まで)  
※イベント開催期間などで時間延長が行われる場合もあります。
- 休園日  
年末年始(12/29～1/3)  
※1/1～1/3は隅田川七福神めぐりのため一部公開しています。
- 無料公開日  
みどりの日(5月4日)  
都民の日(10月1日)
- 庭園ガイド(無料)  
土、日曜日  
(午前11時と午後2時の1日2回)
- 【お問合せ先】  
向島百花園サービスセンター  
☎03-3611-8705  
〒131-0032 墨田区東向島3-18-3



※開花時期は、その年の気象状況などにより左右されますのでご了承ください。

文化財庭園へご来園の皆様へ

都立庭園は、江戸、明治、大正時代から続く歴史・文化・自然を兼ね備えており、いずれも国や都の文化財に指定されています。震災や戦災、進む都市化の中で残された貴重な存在であり、この貴重な存在がよりよい状態で後世に残るよう、皆様にご理解とご協力をお願いいたします。

【庭園からのお願い】

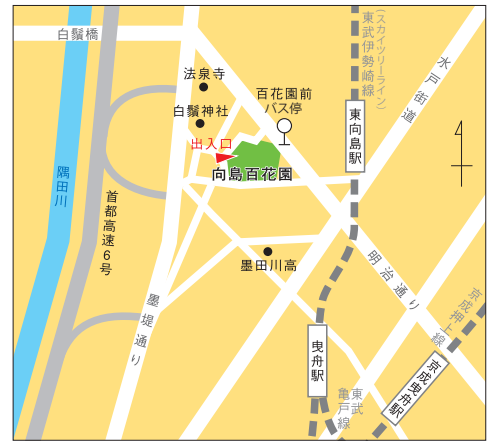
- ペット(動物)を連れてのご入園、園内の動植物の採集、敷物の利用、酒類の持込みはご遠慮ください。
- 写真撮影、写生は建物・添景物保護のためにお断りする場所があります。
- 文化財は定期的な保存修理工事を要することがあり、一部ご観賞いただけない部分があります。

- 都立文化財9庭園
- 浜離宮恩賜庭園
  - 旧芝離宮恩賜庭園
  - 小石川後楽園
  - 六義園
  - 旧岩崎邸庭園
  - 向島百花園
  - 清澄庭園
  - 旧古河庭園
  - 殿ヶ谷戸庭園

	個人	団体(20名以上)	年間パスポート(向島百花園)	年間パスポート(9庭園共通)
入園料	一般 150円 65歳以上 70円	120円 50円	600円 280円	4,000円 2,000円
無料	小学生以下(要付添)及び中学生(都内在住もしくは在学) 身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳 または療育手帳持参の方と付添の方			

集会場(貸室) 御成座敷	①午前部 9:00~12:30	②午後部 13:00~16:30	③夜間の部 17:00~20:30	④1日 9:00~20:30
	全室(35名)	11,900円	11,900円	11,900円
御成の間(15名)	4,500円	4,500円	4,500円	13,500円
中の間(10名)	3,700円	3,700円	3,700円	11,100円
芭蕉庵(10名)	3,700円	3,700円	3,700円	11,100円

※6ヶ月前の同日午前10時から受け付けます。※開園時間内にご利用の場合は、別途入園料が必要です。



- 【交通のご案内】
- 《電車》  
東武伊勢崎線  
(スカイツリーライン)  
「東向島」下車徒歩8分  
京成電鉄押上線  
「京成曳舟」下車徒歩13分
- 《バス》  
都営バス  
亀戸-日暮里(里22)  
「百花園前」下車  
徒歩2~3分
- ※駐車場はありません。



# 百花繚乱

江戸の町人文化が花開いた文化・文政期(1804~1830年)に、骨董商を営んでいた佐原鞠塙が、交遊のあった江戸の文人墨客の協力を得て、花の咲く草木観賞を中心とした花園として開園されました。百花園とは、一説では「四季百花の乱れ咲く園」という意味でつけられたとされます。開園当初は360本のウメが主体でした。その後、詩経や万葉集など中国・日本の古典に詠まれている有名な植物を集め、四季を通じて花が咲くようになりました。唯一現代に残る江戸時代の花園です。

昭和13(1938)年、永久保存のため所有者から東京市に寄付され、翌14(1939)年に東京市が有料で制限公開を開始。なお、昭和53(1978)年に文化財保護法により国の名勝・史跡に指定されました。

## 花の棚

フジは、5月上旬頃に棚全体に花房が下がりに見頃を迎えます。また、他では見られないミツバアケビ、クズの棚もあります。ミツバアケビは4月上旬頃に黒紫色の花をつけ、10月上旬頃になると、淡紫色に色づいた実もお楽しみいただけます。クズは8月に入ると、紫紅色の花をつけ、下旬頃から見頃を迎えると切りは特有の甘い香りに包まれます。



## つる物棚

ヒョウタン、ヘチマ、ヘビウリは棚で栽培する一年生つる草で、7月頃開花し8月から9月にかけて、結実して棚から下がります。



## 池と水辺の花

自然の沼地の趣をたたえた池の一面に、ハナショウブなどが色とりどりの花を咲かせます。夏にはハンゲショウなどが楽しめます。

## 野鳥・昆虫

草木が自然に近い形で植えられているため、ウグイス、シジュウカラ、メジロなどの野鳥が訪れます。都会では珍しいスズムシ、コオロギ、マツムシなどが奏でる音色も楽しめます。

## ハギのトンネル

ハギを竹で編んだトンネルに沿わせて仕立てたもので、百花園の名物です。9月下旬には全長約30mにわたって花のトンネルになります。



## 春の七草・献上七草籠

春の七草は、古来より災いを除き長寿を得る植物として食されてきました。百花園では春の七草を竹籠に植え込んだ七草籠を江戸時代より作っており、明治中頃から皇室にも献上しています。園内でも地植えで展示しています。

図中の①~③④の番号は区域を示すもので、現在咲いている花は、園内の『花の案内板』にてご案内しています。



## 文人達の足跡

入り口付近の庭門に蜀山人の扁額、門柱には詩人・大窪詩仏が書いた「春夏秋冬花不断」「東西南北客争来」の聯がかかっています。そのほか、芭蕉の句碑を含め、合計29の句碑、石柱が園内随所に建ち、庭造りに力を合わせた文人墨客たちの足跡をたどれます。

## 碑の所在

- い 東京市碑
- ろ 福祿寿尊碑
- は 芭蕉「春もやや〜」の句碑
- に 千寿庵益賀句碑
- ほ 亀田鵬斎墨沱梅莊記碑
- へ 雲山先生看梅詩碑
- ち 茶筌塚と柘植黙翁句碑
- と 芭蕉「こにやく〜」の句碑
- り 山上臣憶良秋の七草の歌碑
- ぬ 大窪詩仏画竹碑
- る 金令舎道彦句碑
- を 其角堂永機句碑
- わ 初代河竹新七追善しのぶ塚の碑
- か 二代河竹新七追善狂言塚の碑
- た 飯島光峨翁之碑銘碑
- よ 井上和紫句碑
- れ 芝金顕彰碑
- そ 鶴久子歌碑
- つ 二神石碑
- ね 最中堂秋耳句碑
- な 矢田蕙哉翁句碑
- の 日本橋石柱
- む 月岡芳年翁之碑
- う 螺舎秀民句碑
- ひ 杉谷雪樵芦雁画碑
- の 七十二峰庵十湖句碑
- お 雪中庵梅年句碑
- く 北元居士句碑
- や 寶屋月彦句碑